



「過去と未来」

校長 樋浦 康光

令和6年元日、けたたましい緊急地震速報と共にほのぼのとした正月気分は一変しました。石川県をはじめとする北陸地方に大きな地震や津波が発生し、甚大な被害を及ぼしました。また、翌日には、被災地域に支援物資を届けようとした海上保安庁の航空機と一般の旅客機が衝突し、複数の隊員の方々が命を落とされました。この災害や事故でお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞いを申し上げます。そして、一日も早い復興を心よりお祈りしています。

さて、時は遡り、私は年末の12月20日に城南中学校主催の天体観望会に参加してまいりました。月や木星などの天体を観測し、肉眼では見えないクレーターやガスの様子を見ることができました。私が一番感動したのは、プレアデス星団、いわゆる「すばる」を観測した時です。肉眼では6個ほどしか見えないすばるですが、望遠鏡で見るともっとたくさんの星が集まっていることが分かりました。一説では星の総数は100個とも200個とも考えられているそうです。また、地球からの距離はおおよそ443光年（1光年は光が1年間に進む距離、光の速さは秒速30万km）だそうです。つまり、私が見たすばるは、443年前の姿なのです。443年前の日本は戦国時代にあたり、もしも今、すばるから私たちを観測している人（宇宙人？）がいたとしたら、戦国時代の地球を眺めていることとなります。そのようなことを考えると、とても不思議な気持ちになりました。

このように星を眺めることにより『過去』のことに思いをはせ、自分自身や周りのことを振り返るよい機会となりました。令和5年は皆様に支えられながら、教育活動を実施できましたことあらためて感謝申し上げます。

『未来』である令和6年は「飛躍の年」と位置付けていきたいと考えております。現段階では、

- (1) 「新和小学校のさらなる魅力化」として、現在取り組んでいる教育活動（地域人材を生かしたSDGs教育、学校保健教育等）や、城南中学校及び和土小学校との小・中一貫教育をさらに充実させてまいります。
- (2) 「(仮称)さいたま市放課後子ども居場所事業」を円滑に実施できるようにします。市と連携しながら希望するお子様を対象に放課後の安心・安全な居場所を提供してまいります。※概要は本校ホームページを御参照ください。詳しいことが決定しましたら順次お知らせいたします。
- (3) 「教職員の働き方改革」をさらに推進していきます。本校の教職員が明るく元気に子どもたちに接し、授業等に全力投球できるようにすることは、校長としてとても重要なことであると認識しております。さしあたって、1月中旬頃を目途に、保護者の皆様に発出するお便りをアプリを介してデジタル化してまいります。※詳しくは12月20日付「学校からのお便りデジタル化についてのお知らせ」を御参照（本校ホームページにも掲載しております。）ください。

令和6年も皆様には一層の御理解、御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお便り申し上げます。